

# 学生のアイデア高評価

## 有明高専 佐賀ビジネスコンテスト

佐賀大学の産学・地域連携機構が開催した、佐賀ビジネスプランコンテストで、有明高専電子情報工学科の学生たちが考えた二つのプランが銀賞と優秀賞に輝いた。優秀賞を獲得した五年生の大塩悠貴さんは「福岡



高評価を受けたメンバーたち

デザイン会社と共同で「研究に取り組みました。今

後インターネットで販売する予定です」と話した。

有明高専OBで、佐賀大学大学院二年生の野口卓朗さん、大塩さんら八人のグループが提案した「商店街の空き店舗を活用した地域再生ビジネス」が銀賞、大塩さんは「ウェブを用いたデザイン性の高い背表紙の拡販」が優秀賞に輝いた。

野口さんたちのグループが提案したのは、昨年末に大牟田市の街づくり基金事業の採択を受け、現在店舗改装工事が進んでい

る「まちなかシリコンバレー構想」。空き店舗を借り受け、一階は、高専学生をはじめ様々な業種が集まる「サロン事業」を展開し新たなビジネスチャンス創造することをほかり、二階は、高専学生や大学院生が起業したITビジネス企業が入居し、スマホなど多機能型携帯端末のアプリ(ソフト)などを開発する構想。

大塩さんのプランは、学生らが資料をまとめるバインダーの背表紙をネット上でできるようにしたシステム。大塩さんは「福岡のデザイン会社がバインダーをふくめデザイン性の高い本棚を販売することを計画しており、バインダーの背表紙も、その一環です」と説明した。

指導した石川洋平准教授は「企業が求めるアイデアに学生が答えるコンテスト。今年は、学生の提案で終わるだけでなく、銀座通商店街とタグを組んで実際にビジネスを展開するなど現実に動き出しているのが特徴です。成功し、まちづくり、ビジネス展開の新しいモデルになれば」と語った。